

宇佐美 さやか です



水道料金10%~12%値上げ 示される

結論ありきで進めることは認められません

横浜市水道局は、今年1月に、水道料金体系の見直しを含む「横浜水道中期経営計画（2020年度～2023年度）」素案を発表。1月14日～2月12日の市民意見募集を経て、3月31日に正式な計画として発表しました。

596件の市民意見

中期経営計画に寄せられた市民意見は311通、596件で、その内434件が、水道料金の値上げに反対もしくは懸念を表明する声と、水道事業の民営化につながりかねない事業方式（DB・DBO方式※）への反対意見でした。

水道局は、これらの市民意見について「今後の事業・取組の参考にする」としてはいますが、これらを反映した修正・変更は行っていません。これでは、市民意見を募集した意味がありません。

- ・水道料金の値上げに反対する意見173件
- ・料金体系の見直しに反対する意見57件
- ・水道事業への市税など公費の投入を求める意見21件
- ・水道事業の民営化に反対する意見167件
- ・DB・DBO方式※の採用に反対する意見16件

10%~12%の値上げ案 市民意見募集後に示される

市民意見募集終了後の3月16日の水道・交通常任委員会に水道料金の値上げ案が示されました。内容は、2021年4月から「10%程度」引き上げる案と、2019年度の決算次第では「12%程度」まで引き上げる案の2つが示されました。

水道事業の民営化については、市会常任委員



3/16水道・交通常任委員会
会の場で否定したものの、事業の運営を民間事業者に委ねるDB・DBO方式※は進めるとしています。

	現行料金	改定率10%~12%
料金	1,666円	1,832円~1,865
増加額		+166円~+199円

【1戸1か月の使用水量15㎡における料金比較(税抜き)】
「水道料金の改定の方向性について」水道・交通常任委員会資料

今年9月に議決し、 来年4月から値上げに

今後の進め方としては、今年9月に水道料金改定議案を市議会に提出、議決を受け、10月～来年3月にかけて利用者に周知し、来年4月から実施するとしています。

市民に意見募集した中期経営計画素案では、「料金体系の見直し」としか示さず、具体的な料金の値上げについては言及していませんでした。値上げは市民生活に大きな影響を及ぼします。その是非について一度も市民に問うことをしていません。多数の値上げ反対の声が寄せられる中、このままスケジュール通りに押し進めることは認められません。

※
DB方式：デザイン・ビルド方式＝民間事業者に設計、施工を委託
DBO方式：デザイン・ビルド・オペレート方式＝民間事業者
に設計、施工、運営を委託